

機3号発原

雲南市議会 申請了承

島根側関係4市 全て容認に

雲南市議会が20日、臨時会を開き、市が提出した立地自治体並みの安全協定を強く求めた上で中国電力島根原発3号機（松江市鹿島町片匂）の原子力規制委員会への新規制基準適合性審査申請を認める議案を賛成多数で可決した。今後、中電との安全協定に基づき事前了解権を持つ立地自治体の島根県と中電に伝える。雲南市議会の可決により、島根側の関係4市は全て申請容認となった。

特別委員会で賛成、反対とも3人の可否同数となり、佐藤隆司委員長の採決で可決。本会議では賛成16人、反対5人だった。

市は容認するに当たり、立地自治体並みの安全協定締結など中電や県、国に計22項目を付帯意見として求める。議会終了後、速水雄

午前9時30分―午後5時30分

一市長は「今回は審査申請を認めるもので、稼働を認めるものではない」と話した。

また、市議会は市民団体が提出した陳情6件のうち、説明の機会が足りないなどの理由から、中電に審査申請に関する市民説明会を求める陳情を採択。実効性のある避難計画を策定するまで審査申請しないよう求めるなどした5件は不採択とした。

(引野道生)